

9月号の1枚:「森の神様」がキャンプファイアに点火!

# [巻頭言] 馬橇による搬出作業

山々の森林と言う生命の源が 全て

福岡の山間部に住んでいた中学生頃(昭和50年頃)、森の中に住んでいたが当時の木材の搬出は、馬に引かせていた。その頃、農林が一体で田鋤、田植え、稲運び等、田畑で働く牛と農耕馬が春の木材搬出期に馬橇を見かけた。足太短足気味だが筋骨隆々として実に良く働く。大人は「これは対馬で良く働く。大人は「これは対馬でしま)ウマだ」と自慢気であった。人間との相性も良く馬面を擦りてた。人間とのが可愛くて好物の燕麦等をお土産に馬小屋などを訪ねたりした。

C. W. ニコルさんの "アファンの 森"では馬橇による搬出も検討していると聞いた。国策の「森林・林業再生プラン」では、高性能林業機械が言われているが急峻・複雑な我が国では、馬橇だと森を痛める林道整備が必要もあるはに負荷をかけずに済む利点もも気いるの林業関係本では、伝搬出る合わせ」も考案・施行されて農林と最新技術を組み合わせた「馬橇搬出組み合わせ」も考案・施行されて農林と表合が、尤も今時、機械化された農林業に「対馬ウマ」がどれだけ残っているか。

森林・林業先進国北欧ノルウェーの 森林率 1 位、72%。日本の森林率(2位) の68%。これら林業先進国の特徴は、森林・林業教育制度のシステムが整備されていると同時、森林管理官は、裁判官以上の人格・技能が求められ、13歳迄の義務教育後の若者の多数が、森林専門職への途を選んでいると報告されている。安い外材が入るからと言い逃れず、国産材の製品化技術向上、伝統建築・木工・家具技術の継承を含む高付加価値・製品輸出も大いに考えてみたい。国を守るためにも、一次産業の在り方の根底を考えてみたい。

石村 黄仁(本会、代表理事)

今月の定例活動



9月7日(第一日曜日):

小原本陣の森/森林整備、担い手育成、技術向上。

持続的森林経営:弁当持参。参加費:400円

9月21日 (第三日曜日):

相模湖・嵐山の森/里山交流、多様な森林活動。

主食・自分のお椀・箸・飲料水は持参。参加費:400円



責任ある森林管理 のマーク

### [定例活動]小原本陣の森

8月3日 (第一日曜日)

をして下山する予定だったのですが 尾根を一つ間違えて進んでしまい、 予定の二倍から三倍ほどの距離を進 んでしまいました。山での活動で道 が安定していない場所は、活動の熟 練者がいてもその日の天候や木々の 様子によって道を間違えて迷ってし まうことがあるので、道しるべとお る道標が必要ではないかと思いまし た。

また今月の入山の活動には六月の活動でも参加した高井戸中の中学生も 十数名参加し、橋周辺の林床整備や 拠点から川へと続く道の整理を行っ ていました。

嵐山に比べてどうしても入山の活動は道が細くなっていたり、傾斜が急だったり、経験者向けのハードな場所での作業が多く、作業道からハイキングコースへ進み、迷ってしまっ

た新入生たちはとても苦戦していました。今後はなるべく入山の深くに入って作業をする場合は、山での作業に慣れている上級者が向かい、まだ山に慣れていない新入生へ向けでは毎月の活動の中でやることができなかった作業を行ったり、チェーンソーの資格をもった上級生やNPO法人縁のダム北相模の方と道具に慣れるという意味でお手伝いをしていく必要があると思いました。

今秋はエルニーニョ現象の影響により冷夏・多雨・日照不足の日にちが増加し、九月や十月の活動にも影響が出てくると予想されるので、それを見越した活動を行っていきたいと思いました。

釜谷 優太 (Forest Nova)





### [定例活動]相模湖嵐山の森

8月17日 (第三日曜日)

お盆が過ぎたばかりの日曜日。この日はなんとフォレストノバOBの神宮さん、斎藤さんの顔が相模湖駅にあった。お久しぶり。二人とも今はどちらも林業に関わる仕事を持つ立派な社会人となっている。今日もよいことがありそうな予感が…。

基地周辺ではノカンゾウやサルス

ベリの花が夏を彩っている。53名の参加者はその花に囲まれて朝の体操。その後、それぞれの班に分かれて活動を開始する。

森林整備班は林業のプロ・木林士が伐り倒してくれた材をどのように降るすかの方法を考え、その準備にかかる。お花畑班は今月も草取りに汗だく。大事なワラビやカンゾウを残しての作業だけに神経を使わなければならない。梅やコナラ、カツラの枝払いも行ったため、林床がずいぶんと明るくなった。

フォレストノバは木工と植生調査 に分かれる。木工は来るクラフト教 室のための準備と試作。これに初参 加の東京農大森林総合科学科の学生 3名が加わる。農大生は学園祭の神 輿の飾りを作るためスギの輪切りに 余念がない。植生調査はノバOBの 神宮さんを含めた4名で数カ所設け たコドラートを再調査。私も途中か ら合流したが、彼女らの識別能力の 進歩と変わらぬ熱心さには感服した 次第。 昼食時にはいつものかどや食堂のスープに加え石村夫人手づくりのナスのナムルが振る舞われた。暑い夏にはもってこいのお惣菜だ。夫人は常に参加者のことを配慮してくださる。そんな心のこもったナムルの味が格別だったことはいうまでもない。

午後、高井戸中は午前に引き続き間伐を行う。OB数名も加わり、伐った材の径や長さを計測している。重くて運び出せないほどの大きな木も伐ったようで、中学生の若いパワーには舌を巻く。一方、基地では神

宮さんとノバの望月さんが工作に熱中している。何かと思ったらムササビの家の新築だ。シンボルツリーであるサワラの木にあるムササビの家がだいぶ老朽化したためである。ムササビさんも幸せだなあと思いながら、私もほんの少しだけお手伝い。

さて、問題はこの家をどうやって 備えつけるか。もとの家はずいぶん と高い所にある。ここで林業のエキ スパート、斎藤OBの登場とあいな る。むかで梯子とロープを使い、ま るでムササビのように軽やか に登っていく。望月さんのサ ポートもあり、終礼までにはめでたく設置完了。斎藤さん、さすがです!

本日も無事に活動を終了。だが、皆が帰った後にも高井戸中OBと宮村先生がずっと残り、ノコギリの刃を丁寧に交換してくれている姿があった。高井戸中OBとノバOB。卒業してもなお嵐山に来てくれる彼ら、彼女らの森に対する思いを強く感じた一日であった。

内野 郁夫 (本会、理事)











# [報告1] 元気森モリ!! フォレストキッズスクール inさがみはら

8月11日(月)~12日(火)の2日間、フォレストキッズ・スクールが開催された。昨年、一昨年とは異なり、今年は相模原市立環境情

報センター主催の夏休み子供キャン プ

と合同の形をとることになる。協力 団体は森林インストラクター神奈川 会(JFIK)のほか相模原市に拠 点を持つ自遊クラブ、トランジショ ン藤野・森部、学生連合フォレスト ノバ。いずれも森林・自然環境保全 に関わる団体。子供たちの参加は3 4名。

初日の午前中は相模湖嵐山の森を

歩きながらの森林観察。JFIKメンバーの腕の見せ所である。子供たちは真面目に話を聞いてくれるが、ちょっとおとなし過ぎるような気がしないでもない。午後、森林施業の話をしてからはいよいよ間伐体験にとりかかる。2班に分かれスギの木2本を伐倒。木の倒れる瞬間にはやはり子供たちも興奮気味。

その後、公共の宿泊施設である藤 野町の「やませみ」へバスで向か う。開村式を終え、しばらく休憩した後は、いよいよお楽しみのキャンプファイアーだ。わが北相模・石村代表理事が白衣を身につけおごそかに山の神様を演じて点火。ジェンカ、マイムマイムなどのプログラムなどでイベントは盛り上がる。残り火でのマシュマロ焼きも大人気。ここではフォレストノバの活躍が光っていた。

翌朝は6:30起床。付近を散策しながら草木染めに使う材料を採取する。午前中、自遊クラブの神田さんの木の枝を利用した鉛筆づくりと並行して草木染め体験を行う。草木染めの担当はトランジション藤野の竹内さん。その後は川遊びを行う予定であったが、雨が降ってきたため、急遽フォレストノバによるネイチャーゲームに切り替えた。ここでもノバの活躍が目立つ。

昼食は鹿や牛の焼き肉と焼きそば。川田さんをはじめJFIKメンバーはてんやわんやの大忙し。食事をとる間もない。その後、子供たちはバスで小原本陣へ。歴史ある旧家を見学してからイベントは終了。

後日、参加した子供たちからは 「森の歴史を学べた」「森のことを もっと知りたい」「森をきれいにす るためには何をしたらいいのか学べ た」との感想があったという。子供 たちが思いのほか森に関心を寄せて くれたのは何よりの収穫。複数の団 体が関わってのフォレストキッズ・ スクールではあったが、まずは成功 といってよいだろう。これをさらに よりよい催しにしていけたらと願っ ている。

内野 郁夫 (本会、理事)

「元気森モリ!!フォレストキッズスクール inさがみはら」という一泊二日の宿泊型の環境教育に参加しました。場所は主に嵐山でした。

嵐山では、子供たちを2グループ

に分け、間伐体験 を行いました。 ForestNova☆は 小学生を対象に した間伐体験は あまりしたこと が無く、専門用 語の表現の仕方 などを工夫する のが大変でし た。ですが、身 振り手振りで一 生懸命に伝えよ うとしているのが 子供達に届いた のか、皆が我先 にと意欲的に取 り組んでくれ、無 事伐り倒す事が 出来ました。 その日の夜は宿 泊先でキャンプフ ァイヤーを行いま した。ですが、 ForestNova☆も 子供達も実はへ トヘトでした。 しかし、森の神 様役に扮した石 村様の持つ松明 で燃え上がった 炎を前に、僕達 は言葉通り、身

た。初対面の子供達が仲良く手を繋ぎ、炎を囲ん で踊る姿はとても感動的 でした。

も心も踊りまし

今回のフォレストキッズスクールは子供たちに密着して森の事を教えるいい機会になりました。宿泊型は大変ですが、このような企画に参加して、更に森の大切さを子供たちに伝えたいです。

山田 和彦 (Forest Nova)









# [報告2] ForestNova活動報告

#### 麻布大学 学術交流協定会合

8月7日、この日は今年度の6月に 麻布大学の学長に新しく就任された 浅利新学長様とNPO法人緑のダム北 相模の石村様と川田様、麻布大学の 生命・環境科学部環境科学科の国際 コミュニケーション研究室で昨年か ら定例活動やイベント等で携わって いる原田教授、またForest Nova☆ 代表で麻布大学生命・環境科学部環 境科学科三年の山田と、Forest Nova☆で麻布大学生命・環境科学 部環境科学科二年の釜谷の六名で浅 利新学長様へ向けて、昨年の六月三 十日に神奈川県相模原市で開催され た『さがみはら環境まつり』で結ば れた学術交流協定について会合が行 われました。

HRESPORTS世界へ発信、国際基準の森つ

たことを報告いたしました。

今回の会合で浅利新学長様は、学長に就任するまでは理事という立場であり学術をの報告を受けていたものの、協定の内容自体はあいりはあいできていないではいてで、真けました。さらに「通山の大きには「関いではいる」とではいます。とのことでで、所有ととを嬉しく思います。

釜谷 優太 (Forest Nova)

#### さがまちカレッジNL

今年も暑い夏がやってきました。 この季節になると、まぶしい太陽に 負けないくらいに子供たちの笑顔が いっそう輝きだします。

私たちForestNova☆は、麻布大学と関係のある相模原・町田大学地域コンソーシアムという公益社団法人からお話をいただき、8月12日、相模原北公園にて、相模原・町田市の子供たち7名を対象に森を身近に感じてもらうために環境教育をした。内容は公園の中を探検して、感じたことや不思議に思ったことのマップづくり。公園と森は違うので、森のことがちゃんと伝わるか不安だったのですが、しっかりと子供

たちの中に「森」というキーワードが入っている様子がうかがえました。心にちゃんと届いていることがとても嬉しいです。そして、なにより嬉しいのは、子供たちに「また来たい」と言ってもらえたことです。今回の経験をずっと忘れないでいてほしい。いつ



か思い出して森に来てほしい。そん な期待を込めながら、子供たちと別 れを告げました。これからもただ楽 しいだけでなく、継続性や、もっと 意味のある環境教育をしていきたい と思います。

世持 由美子 (Forest Nova)

# [報告3] 国際認証継続審査 申請中です

この8月を締切に国際認証の継続 審査を申請しています。今回は文書 による審査のみではありますが、毎 月の定例活動の報告(ホームページ 上でも公開中)、2014年度活動計 画をはじめ、各作業班ごとの伐採地 点、量などをまとめて提出していま す。また来年の5年ごとの継続審査 に向けて、植生調査も行っていま す。こちらは2005年取得時に行っ た地点と同じ地点で調査を行い、こ の10年間で植生に変化があったの か、なかったのかなども検討し、 GISのデータとともにウェブで公開 します。さらに、間伐時のデータも 同様にGISで公開できるよう準備を 進めています。

宮村 連理(本会、理事)

#### 【事務局からお知らせ】

#### esriジャパンのサイトで事例紹介され ています

ForestNovaのOBでもある前川健さんが働いているesriジャパンという会社の製品であるArcGISを用いて活動をウェブにまとめています。今回、このesriジャパンのホームページにて本会の活動が事例として紹介されています。

http://blog.esrij.com/arcgisblog/ 2014/08/post-b506.html

ぜひご覧ください。

また本会の定例活動のページからも 相模湖嵐山の森での活動の様子がGIS のデータとともにご覧いただけます。 合わせてご覧ください。





# 会員コーナー

- ●会員のコーナーでは、皆さんの自由なご意見やご提案をお願いいたします。下記の専用メールアドレスか、事務局FAXまでご連絡ください。また、こちらのコーナーへの投稿や写真の提供もお待ちしております。
- ●通帳からですと振り込み手数料が掛かりません。 領収書はゆうちょ銀行等の発行する領収書をご利用下さい。 また、新規入会の方は、住所、電話番号を事務局にお知らせください。 振込の際は局の振込用紙に記号、番号を記載し、振込者の情報を記入し て、機械操作にてお振り込みいただけると助かります。

世田谷郵便局 (記号) 10000-(番号) 65791651

●今年度の会費を納入いただいた方です。ご支援ありがとうございます。

杉並区立高井戸中学校地球環境部 42名

### 参加にあたって:

初参加者は、9時15分までに JR相模湖駅前集合してください。服装、持ち物については、 汚れても良い服装、着替え、滑らない靴 成るべく皮製手袋、 万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食;自分の食器(お 椀・お箸)

### 危機管理・救急対応:

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

# NPO法人

# 緑のダム北相模

一日も休まず"継続は力"。)

急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。 そして、沢山の参加で森は、良くなる。 (台風の日は勉強会開催。16年間、 名称:特定非営利活動法人 緑のダム北相模

事務局: 154-0023 東京都世田谷区若林3-35-9

発行人: NPO緑のダム北相模 事務局 Tel&Fax 03-3411-1636

URL: http://www.midorinodam.jp

E-mail: info●midorinodam.jp ●を@に変更して使用してください

corner●midorinodam.jp 会員コーナー専用アドレス

協働団体:セブン-イレブン記念財団、相模原市(市民協働推進課)、

東海大学付属望星高等学校、生命の森宣言・東京

支援団体: WWF JAPAN、イオン財団、市民社会チャレンジ基金、

神奈川県建具協同組合、JFEメカニカル、東急コミュニティ、

マルモ出版